

「農と学びの共創拠点 VUTAI」を中核に 農を起点とした地域の担い手づくりを目指す

～有限会社 類農園～（宇陀市）

地域の「未来」を拓く場所へ

有限会社類農園は、株式会社類設計室の農園事業部として1999年に農業に参入しました。2014年に農産物直売所を開設するとともに、奈良県内外の生産者約600人が類農園の流通網を活用して農産物を直売所等に出荷しています。

2024年に類農園事業25周年を迎えたことを契機に、2026年4月に「21世紀型の就農定着と担い手づくり」を目指し、生産/流通/滞在の機能を備えた「農と学びの共創拠点 VUTAI」をグランドオープンしました。



「農と学びの共創拠点VUTAI」

次世代に向け、農業と教育を通じて、共創・協働がはじまる場を目指す

類農園が目指すのは、地域内外の農業者、他業界の様々なプレイヤーが共創によりつくり上げられる盛り上がる地域の姿です。若手（20～30代）が多く、女性も活躍している組織そのものが体現するように、今後いっそう力を入れたいテーマとして掲げるのが「地域を担う人材育成」です。

具体的な取り組みとして、「農と学びの共創拠点 VUTAI」を活用し、新規就農者とベテラン生産者が、農業技術の追求から販売のノウハウまで意見交流のしやすい空間を整備。さらに、直営直売所を通じて消費者と生産者との交流及び農業体験や農作業ツアーも構想しています。

類農園は、“担い手=就農者”に限定しない関わり方を模索し、農業関係人口を増やすことで、農業教育体験や農村づくり体験をさらに拡充した「21世紀型の就農定住」を目指します。



「農と学びの共創拠点 VUTAI」を起点に新たな活動をスタート

関係人口の創出や次世代の担い手育成を目指し、宇陀市をフィールドに生の生産現場でしか触れることのできない農業・食のリアルを体験できるプログラムをスタートしました。

周辺の農家や事業者、行政とも連携し、ここでの本物の体験を通じて、1次産業に興味を持ってもらうきっかけになったり、最終的にはこれからの担い手の育成に寄与していくことを目指しています。



農業体験の様子



【問合せ先】類設計室農園事業部（類農園）

電話：0745-85-2010

<https://www.rui.ne.jp/agriculture/>（外部リンク）